令和７年度　不祥事根絶に対する取り組みについて

城里町立沢山小学校長　大足　かおり

本校では、保護者、地域との信頼関係を築き子供たちが安心・安全な学校生活を送れるよう服務規律等の確保のため、以下の取り組みを行っております。

本校では、コンプライアンス推進委員会を中心とし、定期的にコンプライアンス研修を実施しています。

学校コンプライアンスに関する茨城県からの通知・通達、事故発生報道等を基に、法令研修をタイムリーに実施しています。また、当事者意識を高める「自分事研修」の充実、ボトムアップ研修・事例検討等、周囲への影響を考えさせたり、職員からの意見を吸い上げたりして根絶に向けた取り組みを協議しています。教職員一人一人が自分事として捉えられる内容にしています。

本校の基本指針は「たいせつですね運動」です。以下のようになります。

○　た　（体罰・暴言、不適切な指導の防止）
- 児童一人一人の話をよく聞き、事実確認を徹底する。
- 担任をはじめ生徒指導主事等、複数教員で指導する。
- 人権に配慮した言動を徹底する。《アンガーマネジメント》

○　い　（飲酒運転の根絶）
- 酒席がある場合は、事前に飲酒の有無、帰宅方法を参加者全員に確認する。
- 飲酒を勧めないとともに、車で来た人には、飲酒をさせない。
  「飲酒しません」のカード等で明確に意思表示をする。

○　せ　（セクハラ・パワハラ等のハラスメント・わいせつ行為の防止）
- 言葉遣いや態度に注意する。　×大声、威圧的な態度、感情的な言動
- 児童の話をよく聞き、事実確認を徹底する。
- 複数教員で指導にあたり、密室等の閉鎖的な場での指導は避ける。
- 性暴力事案の未然防止のため、一人一人の意識の高揚を図る。

○　つ　（使い込み防止、金銭の適切な管理）
- 会計等については、複数の教職員で確認し、適切に処理する。

○　で　（データ漏洩の防止、個人情報の適切な取扱）
- 個人情報に関するものは持ち出さない。（データ、紙媒体）
- 過去の事例をもとに研修を行い、危機管理意識を高める。
- 個人情報の誤廃棄、誤送信をなくすために複数で確認する。

○　す　（スピード違反等交通ルール違反の防止）
- 通勤路等の制限速度の確認し、遵守する。
- 時間に余裕をもって通勤する。
- 万が一の事故への備え・緊急時の連絡確認

○　ね　（ネットワーク［SNS 等］の適切な利用）
- 個人的に児童、保護者とつながらない。
- 個人情報を SNS 等に載せない。

○　盗撮の防止
- 教室、特別教室等の整理整頓　不要な物を置かない。
- チェックリストを用いた定期的な点検
- 写真等の画像データ管理の徹底
- 日直、安全点検などでの定期的な見回りの実施。トイレ、更衣室等は特に注意
- 壊れている箇所等の迅速な修理